



## 第2回大野市総合教育会議

# 令和3年度 of 取組状況について

日時 令和3年10月19日(火) 午後1時00分～  
場所 結とびあ 3階 303号室

## ◆ 教育総務課

### 1 優しく賢くたくましい大野人を育てます

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>ふるさと大野の未来を創造する力と、自己の生き方について考える力を育てるために、さまざまな学習や体験を充実します。</p> <p>確かな学力を身に付けるため、国や県、市の学力調査を活用した授業改善を行います。</p>	<p>学力調査の調査結果を教員の授業改善に活用する必要がある。</p>	<p>確かな学力の向上と、ふるさとを愛する心を育むための、さまざまな事業を実施し、学校の特徴等を生かした活動が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学力調査事業</li> <li>● 先輩に学ぼうアートドリーム事業</li> </ul>	<p>学力調査結果を分析し授業改善につなげるスキルやノウハウが必要である。</p> <p>コロナ禍によるアーティストの人材の確保が困難である。</p>
<p>情報活用能力や論理的思考力を育成するために、タブレット端末などのICT機器を効果的に活用します。</p>	<p>一人一台タブレット端末を効果的に活用し、授業の充実と学習効果の向上を図るため、教員のスキルを向上する必要がある。</p> <p>国際理解教育推進員を継続的に配置するとともに、効果的に活用する必要がある。</p>	<p>一人一台のタブレット端末の配置は完了。</p> <p>GIGAスクール担当者会議を行い、研修や情報交換を行った。</p>	<p>導入後のサポートや保守、アプリ導入、更新に係る経費を国が支援する必要である。</p> <p>学校間、教員間で操作スキルに格差がある。</p>
<p>安心して通える魅力ある学校をつくるために、いじめや不登校への対策を充実するとともに、障害や多様性を個性として受け入れる教育を推進します。</p>	<p>多様な児童生徒に対応するため、相談員及び支援員等の人員を確保するとともに、適正に配置する必要がある。</p> <p>いじめ防止に係る情報の管理と共有を図る必要がある。</p> <p>いじめ認知範囲の拡大による認知件数の増加に伴い、相談体制等を充実する必要がある。</p> <p>家庭環境等を要因とした問題を抱えた児童生徒の増加に伴い、スクールソーシャルワーカーを継続的に配置する必要がある。</p>	<p>結の故郷教育相談員、スクールカウンセラー、いじめ相談カウンセラー、青少年教育センター指導員と学校や行政が連携し、問題を抱える児童生徒の環境改善に取り組んでいる。</p> <p>発達に気付きがある児童生徒に対しては、結の故郷教育支援員を配置し学校生活を支援している。</p>	<p>家庭環境等を要因とする問題を抱えた児童生徒が増加しており、福祉的支援を行う専門職の介入が必要である。</p> <p>特別な支援を必要とする児童生徒に対して、対応能力を有する人材の確保が課題である。また、質的向上を図るために、研修の積み重ねが必要である。</p>

## 2 児童生徒の教育環境を整えます

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>未就学時から高等学校までをつなぐ教育の仕組みづくりに取り組みます。</p>	<p>学びの連携や接続について、関係機関が協力して研究を進める必要がある。</p>	<p>互いの参観を通して子どもの姿（学び）を見取る機会を増やしている。</p> <p>幼小連絡会の実施</p> <p>小中学校全体で共通した認識のもと各教育活動を推進している。</p> <p>中高連絡会において、授業参観と情報交換会を実施している。</p>	<p>園や学校によって進捗の差がある。</p> <p>校区の規模により、多様な意見交換の場が得られにくい。</p> <p>小規模の学校では、授業参観など気軽に出かけにくい。</p> <p>互見授業の推進や、適正な進路指導、奥越の高校の魅力を伝えることに課題がある。</p>
<p>一定規模の学習集団による教育を実現するため、小中学校の再編を進めます。</p>	<p>慎重かつ丁寧に学校再編計画の改訂を進める必要がある。</p>	<p>保護者や地域住民、教職員を対象とした小中学校再編計画（案）の説明会を実施した。</p> <p>今後は、検討委員会の開催やパブリックコメントの実施などを経て、計画を改訂する。</p>	<p>早い段階から、学校間の調整を行う必要がある。</p> <p>地域の活性化、跡地の取り扱いなどについても、調整を行っておく必要がある。</p>
<p>小中学校の適正な管理及び安全な通学の確保を行うことで、児童生徒が安心して学習に取り組むことができる環境を整備します。</p>	<p>児童生徒の安全確保のため、施設の適正な維持管理を行う必要がある。</p> <p>学校施設等の老朽化により、現状を把握し計画的に修繕を行う必要がある。</p>	<p>適正な維持管理や、修繕を行っている。</p> <p>改修計画の作成に向けて、施設の現状を把握し、整理した。</p>	<p>小中学校の再編に向けて、校舎等の施設の改修計画を検討する必要がある。</p>

### 3 地域と学校が連携して子どもの育ちを支えます

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>家庭や地域、学校、公民館の連携による「コミュニティ・スクール」を推進します。</p>	<p>学校を核として地域の特色を生かした事業を展開し、市全体で地域の将来を担う子どもの育成を図る必要がある。</p>	<p>福井型コミュニティ・スクールの「家庭・地域・学校協議会」から国のコミュニティ・スクールとなる「学校運営協議会」への移行するための準備を行っている。</p>	<p>関係団体等の協力について、丁寧な説明が必要である。</p>
<p>心豊かな子どもたちを育成するため、地域ならではの行事への参加、自然との触れ合いなど、さまざまな人たちと関わる機会をつくります。</p>	<p>公民館や地域団体との協力が必要である。</p>	<p>地域の魅力を発信する活動を通して、地域や身近な自然と関わる体験を行っている。</p>	<p>公民館や地域団体との協力が必要である。</p> <p>国において、部活動の地域移行や過疎地域の合同活動など、持続可能な部活動運営と働き方改革の両立として、部活動改革を推進している。</p>
<p>地域の伝統行事や伝統芸能、伝統料理などを末永く後世に伝承する活動を推進します。</p>	<p>公民館や地域団体との協力が必要である。</p>	<p>確かな学力の向上と、夢に挑戦する力や愛郷心を育むための、さまざまな事業を実施し、学校の特徴等を生かした活動が行われている。（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ふるさと大野かがやき隊事業</li> </ul>	<p>公民館や地域団体との協力が必要である。</p>

◆ こども支援課

1 結婚から子育てまで切れ目のない支援体制を確立します

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>将来の結婚や子育てに希望が持てるよう、関係機関が連携して、若い世代の結婚への応援や、働きながら子育てがしやすい環境づくりを進めます。</p>	<p>子どもと保護者が安心して過ごせる居場所づくりの確保と、父親の育児参加の機会の創出が求められている。</p>	<p>子育て支援センターにおいて、月2回の土曜開所を行うなど、父親の育児参加の機会を創出しているが、まだまだ参加は少ない。</p>	<p>父親が参加するための工夫が必要である。</p>
	<p>新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係る支援が必要である</p>	<p>結婚新生活支援事業により、新生活のスタートアップに係る費用の支援を実施している。 複数の補助要件があり、補助に該当しない夫婦がいる。</p>	<p>支援制度の内容や手続きなどの周知が必要である。</p>
<p>妊娠中の不安や産後うつなどにより母親が孤立することがないように、きめ細かな相談支援や情報提供、保健指導などを行います。</p>	<p>大野市公式LINEのセグメント広報等を活用し、子育て支援サービスの利用につながるような広報を行う必要がある。</p>	<p>大野ですくすく子育て応援パッケージにより、全国トップクラスや県内トップクラスの子育て支援に取り組んでいる。</p>	<p>子育て支援策が市内外に十分に伝わっていない。子育て世代や若者への情報発信が求められている。</p>
		<p>大野市公式LINEアカウントを活用したプッシュ型の情報発信を行っている。</p>	<p>子育て支援センターでのオンライン相談の充実が必要である。</p>

## 2 保護者のニーズに応じた子育てサービスを提供します

施策	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>子どもの人権を尊重した質の高い保育・幼児教育を提供するとともに、保育士や保育教諭などのさらなる資質と専門性の向上を図ります。</p> <p>保護者の多様なニーズに対応するため、延長保育や一時預かりなどの特別保育を実施します。</p>	<p>保育士の離職防止と保育人材の安定的確保による保育所等での受入態勢の整備が必要である。</p>	<p>適正で安定した教育・保育が実施されており、一時預かりや延長保育などの特別保育サービスなども適正に提供されている。</p>	<p>保護者ニーズに継続的に対応するための保育人材の確保と、民間保育所等の安定的な運営が求められる。</p>
<p>在宅での子育て家庭に対する子育てサービスの提供や、子育てに係る経済的負担の軽減を図ります。</p>	<p>保育所等の入所前における、家庭での育児支援が求められている。</p>	<p>家庭育児応援手当を支給している。（所得制限なし）</p>	<p>支援制度の内容や手続きなどのさらなる周知が必要である。</p>
<p>放課後児童クラブや放課後子ども教室など、子どもたちの放課後の居場所を確保します。</p>	<p>放課後の居場所について、居住地により制度が違う。</p>	<p>放課後の居場所の確保として、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」で対応している。</p>	<p>放課後子ども教室を実施している地区では、長期休業中の子どもの居場所の確保が求められている。</p>

## 3 サポートを必要とする子どもと家庭を支援します

施策	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>発達に気がかかるのある子どもや医療的ケア児、要保護児童、ひとり親家庭などに対し、関係機関が連携し専門的な支援を提供します。</p>	<p>医療的なケアを必要とする子どもとその家庭への安全な保育環境の整備が必要である。</p> <p>支援ニーズが高い子どもへの状況把握と関係機関との連携した支援が求められている。</p> <p>ひとり親家庭への生活支援体制整備が必要である。</p>	<p>医療的ケア児を公立保育園で保育している。</p> <p>子ども家庭総合支援拠点に社会福祉士などの専門職員を配置し、要保護児童への対応や、ひとり親家庭への支援を行っている。</p>	<p>子育ての総合相談窓口である「子育て世代包括支援センター」と、子どもや妊産婦等の福祉に関する支援業務を行う「子ども家庭総合支援拠点」の認知度のアップが必要である。</p> <p>子ども見守り強化事業のより効果的な実施が必要である。</p>

◆ 生涯学習・文化財保護課

1 保護者のニーズに応じた子育てサービスを提供します。

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
放課後児童クラブや放課後子ども教室など、子どもたちの放課後の居場所を確保します。	放課後子ども教室の利用者増に対する対応	乾側、小山、上庄、富田、阪谷の5地区において、放課後子ども教室を実施している。 年々、利用する児童数が増加している。	利用する児童数の増加に伴い、子どもを見守る安全管理員の確保が必要になっている。 また、事業を実施する場所が狭くなっているため、広く活動できる場所の確保が課題である。

2 優しく賢くたくましい大野人を育てます。

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
家庭や学校、地域が一体となって、青少年の安全確保と健全育成を行うための環境づくりを促進します。	家庭・地域・学校・行政の連携の促進	青少年に関わる各機関・団体が連携し、青少年健全育成推進事業の実施や青少年問題協議会の開催を通じて、青少年の健全育成を図っている。 家庭教育や少年教育、ジュニアリーダーの育成、子ども会活動を実施している	青少年と地域のつながりの希薄化や青少年犯罪の多様化により、青少年に関わる大人たちが連携したさまざまな対応が必要である。
子どもたちに読書の楽しさを伝えるとともに読書の習慣化を促すため、図書館と学校との連携を進め、学校や認定こども園などへ図書館司書や読み聞かせボランティアの派遣を行います。	魅力ある図書館を目指し、利用環境を整えるための施設の維持管理と蔵書の充実を行う必要がある。	子ども（0歳～高校3年生）の一人当たりの貸し出し冊数が減少している。 子どもに読書の楽しさを伝える事業として、学校や認定こども園などへ図書館司書や読み聞かせボランティアの派遣を行っている。乳幼児期からの絵本の読み聞かせについて保護者に説明し、楽しんでもらうためブックスタート事業を実施している。	子どもの読書を推進するため、あらたに図書に興味を持つ機会を提供する事業を実施する必要がある 平日の家庭での読書の習慣化を啓発していく必要がある。 ブックトーク、ストーリーテリングが実施できる人材の養成が必要である。

### 3 地域と学校が連携して子どもの育ちを支えます

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>家庭や地域、学校、公民館の連携による「コミュニティ・スクール」を推進します。</p>	<p>令和4年度からの国型コミュニティスクールに円滑に移行できるよう計画的な準備が必要である。</p>	<p>福井型のコミュニティスクールにより、家庭・地域・学校協議会を設置して、学校運営などについて協議している。 令和4年度からの国型コミュニティスクールへの移行に向けた準備を行っている。</p>	<p>国型コミュニティスクールの開始に合わせて、学校と地域が連携して活動ができるよう、各公民館に地域学校協働本部を設置する必要がある。</p>

### 4 地域を担う人づくりや生涯学習を推進します。

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>誰もが、生涯を通して時代に即した学習が行えるよう、生涯学習センターや公民館、図書館などが一体となって情報を発信し、学習の機会を提供します。</p>	<p>ふるさと教育の他、時代に応じた知識や技術の学習、人口減少、少子化・高齢化、地域力の弱体化など、地域が抱える課題に対応した生涯学習の推進を計画的に進める必要がある。</p>	<p>人材活用事業、わく湧くお届け講座、公民館での人づくり学習事業などを実施し、生涯学習を推進している。 これまでさまざまな事業を実施し、各種広報などで情報を提供しているが、認知度が低く、市民に関心が持たれていない。</p>	<p>生涯学習に対する市民の認知度が低い状況であり、事業の広報手段の見直しや、関心の高いテーマの講座の検討が課題となっている。</p>
<p>大野市男女共同参画プランや大野市人権施策基本方針に基づき、市民への啓発活動や学習活動などを行い、男女共同参画の社会を推進し、人権を尊重する人づくりに取り組みます。</p>	<p>女性リーダーをいかに育成していくかが課題である。人権を尊重する取り組みは、継続して実施していく必要がある。</p>	<p>人権啓発講演会を実施している。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 地域における女性の役員の割合が低い。 人権をテーマにした講演会への参加者が少なく、市民の関心が低い状況である。</p>	<p>地域における女性リーダーの育成が課題である。 人権をテーマにした講演会に対する市民の関心を高める必要がある。</p>



5 地域での交流を深め、支えあいを広げます。

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
地域の活性化や課題解決、住民の世代間交流などを進める事業を支援します。	人口減少、少子化・高齢化、地域力の弱体化など、地域が抱える課題に対応した学習への取り組みや団体活動に支援を行う必要がある。	人材活用事業、わく湧くお届け講座、公民館での人づくり学習事業などを実施し、生涯学習を推進している。	地域における人口減少が進む中で、地域が抱える課題に対応した学習活動や地域の絆を深める活動を推進する必要がある。

6 地域住民が利用しやすい活動拠点をつくります。

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
地域づくりや生涯学習の拠点として、働く世代や子育て世代などあらゆる世代が公民館を利用できるよう運営方法を工夫し、地域住民が気軽に集うことができるよう身近な公民館とします。	生涯学習センター、自然活動体験施設及び公民館施設の適切な維持管理と、計画的な長寿命化対策を行う必要がある。 市民が利用しやすい生涯学習センター、自然活動体験施設及び公民館の運営を行う必要がある。	各施設が、経年劣化によるさまざまな不具合が発生している。市民の利用に支障を来すことがある。また、機器についても老朽化が進んでいる。	各施設の適切な維持管理と計画的な長寿命化対策を行う必要がある。 市民が利用しやすい施設運営を行う必要がある。
図書館の蔵書の充実を図り、市民の学習や情報収集へのニーズに対応します。	魅力ある図書館を目指し、利用環境を整えるための施設の維持管理と蔵書の充実を行う必要がある。	新型コロナウイルス感染症の影響により、図書館利用者、子どもの一人当たりの貸し出し冊数が減少している。	市民ニーズに応じた図書の選定や、子どもが図書に興味を持つ新たな機会の提供が課題となっている。

## 7 文化遺産・自然遺産を保護し活用します。

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>文化財を保存継承するために、新たな文化財の発掘に努め、指定文化財などの増加を図ります。</p>	<p>大切に守り伝えられてきた指定等文化財の保存や継承、新たな文化財の発掘に向けた調査等を行う。</p>	<p>指定等文化財の所有者や管理者からの保存継承、管理に対する相談を受け、必要な助言や指導を行っている。</p> <p>文化財の保存・活用に向けた「大野市文化財保存活用地域計画」の策定に取り組んでいる。</p> <p>新たな文化財の発掘に向け、調査を行っている。</p>	<p>指定等文化財の保存継承、管理に必要な人材や経費の確保が困難な事例がある。</p> <p>文化財調査に時間を要するため、文化財の指定や「おおの遺産」の認証に向けた継続的な調査が必要である。</p>
<p>化石を産出する地層や淡水型イトヨとその生息環境などの自然遺産を保護し活用するため、研究機関と協力して調査研究と活用を進めます。</p>	<p>「大野市和泉地区化石保存活用計画」の推進を図り、化石及び産出地の保全や調査研究を行い、生涯教育や学校教育に活用する。</p>	<p>和泉地区では学術的に重要な化石が多く発見されているが、未調査の化石産出地が多く残されている。</p> <p>中部縦貫自動車道などの工事によりさらに多くの化石が発見される可能性があり、地質や化石の調査研究が活発化している。</p>	<p>化石産出地の保全し、算出した化石記録を行うため、関係機関と連携した調査研究を進める必要がある。</p> <p>研究成果や化石が持つ学術的価値を広く発信し、化石の保全と活用に対する意識の高まりを図る必要がある。</p>

## 8 郷土の歴史や文化の魅力を発信します。

取組方針	課題（予算編成時）	現状	課題（現在）
<p>博物館などにおいて、展示や講座、講演会などを開催し、郷土の成り立ちや文化財、伝統文化に対する市民の理解を深めます。</p> <p>郷土の歴史や文化財、伝統文化を市内外に発信します。</p>	<p>文化財の活用に向け、広く周知を図る。</p>	<p>歴史資料や化石資料をテーマとした企画展を開催しているほか、博物館講座開催している。</p>	<p>歴史や化石に対して、関心の低い人に対し、興味を持ってもらえる展示方法や内容の検討が必要である。</p> <p>事業の周知について、より効果的な情報発信が課題である。</p>